

(仮称)川西市総合医療センター  
キセラ川西センター整備事業

別添資料 1 要求水準書  
附属資料 諸元表・凡例

平成 31 年 4 月

令和元年 6 月

川西市

【諸元表について】

諸元表は、本事業における施設整備において、主要な室の機能や性能等の要求水準を示すものである。加点審査項目提案書の作成に当たっては、室条件を充足しながら、室の配置、扉の位置、必要となる設備の仕様・位置・数量等を計画すること。

事業者は、設計業務において、病院各部門の要望を十分に反映させるため、詳細な室条件について市及び指定管理者に対してヒアリングを実施すること。また、事業者は、ヒアリングにて収集した要望を市と十分に協議のうえ整理を行い、諸室の各種要件について確認を行うこと。特に、本事業による施設整備にて備え付けるものや医療機器に必要な設備・構造、備品レイアウトと合致した計画を行うこと。諸元表に記載のある内容は、原則その条件を満たすこと。ただし、ヒアリングの結果等により使い勝手を配慮した上で諸元表と異なる内容を提案し、その提案を市が承諾した場合は、同提案内容は要求基準を上回る水準とみなし、諸元表の内容の変更を認めるものとする。

電気室、機械室、D S・P S・E P S等は、計画の考え方によりその必要数や必要面積が変化すると考えられるため、事業者各々の計画に則り適宜計画すること。C TやM R Iなどの機器特有の機械室等も機種に応じて計画すること。

また、本事業は、救急医療、周産期医療、小児医療及び災害時にも適切な医療を提供できる病院を目指すものであり、当該病院に当然備えるべき機能レベルは、施設要求水準欄に示す各室特有のものを除き記載していない。事業者は適切な判断により各諸室、設備等を計画すること。

なお、諸室の種類に応じて当然備えるべきものとしては、一般的に階段・廊下の手摺、トイレ及び浴室等の補助手摺、ブラインド、カーテンレール(カーテンは別途工事)、カーテンボックス、スクリーンボックス、ピクチャーレール、各種サイン、障害者用表示・案内、感染予防消毒液収納、靴拭きマット、ストレッチャーガード、コーナーガード、点滴フック・レール、各種カウンター、化粧鏡、収納及び収納扉の耐震ロック機能、収納棚、消火器ボックス、避難器具、ペーパータオル、ハンドドライヤー、ベビーシート、浴室・脱衣室等の局所的な暖房器具等が該当する。

また、病院機能上、各種医療機器機能上、診療報酬基準、法令順守、保守管理等で当然必要となる設備については適切に計画すること。

以下諸元表の各項目について凡例を示す。

【全般】

全般記号凡例	
( 想定面積 )	1室当たりの面積(壁芯面積)を示す。 「以上」の記載の部屋については記載されている想定面積以上を確保すること。 数字以外の記載のない部屋については、記載されている想定面積の±10%以内とすること。なお、室の機能を鑑みて運用に支障のない面積とすること。 「適宜」の記載の部屋については施設要求水準・備考欄・配置予定の主要な医療機器等欄に記載の機器・什器・備品の配置が可能で内部通路スペースの確保など運用に支障のない面積とする。
( 施設要求水準 )	特有の使い方をする部屋用途の説明及び室における特有の設計水準がある場合に記載している。諸室の種類に応じて当然備えるべきものについては、記載がなくとも設置を行うこと。

【建築等】

建築関係記号凡例	
( 吊戸棚 )	「 」印のある部屋については諸室の特性に配慮の上、設置すること。
( カウンター )	「 」印のある部屋については諸室の特性に配慮の上、設置すること。
( 流し台 )	「医・バ`→単」印のある部屋には、医療用流し台を設置し、レバーハンドルの単水栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「医・バ`→混」印のある部屋については、医療用流し台を設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「バ`→混」印のある部屋については、流し台を設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。
( 洗面化粧カウンター )	「バ`→単」印のある部屋及び洗面化粧カウンターの設置と記載のある部屋については、洗面化粧カウンターを設置し、レバーハンドルの単水栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「バ`→単」印のある部屋及び洗面化粧台の設置と記載のある部屋については、洗面化粧台を設置し、レバーハンドルの単水栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「バ`→混」印のある部屋及び洗面化粧カウンターの設置と記載のある部屋については、洗面化粧カウンターを設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「バ`→混」印のある部屋及び洗面化粧台の設置と記載のある部屋については、洗面化粧台を設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。

【電気設備】

(共通事項)

原則、「病院設備設計ガイドライン(電気設備編)HEAS-04-2011(設計時の最新版)」、「JIST1022 病院電気設備の安全基準」及び電気設備学会「病院電気設備の設計・施工指針」に準じて計画すること。

電気設備記号凡例	
(電話、TV)	1) 標準的な設置個所を示す。 2) 記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(患者呼出、ナースコール、インターホン)	1) 標準的な設置個所を示す。 2) 記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(医療機器用配管)	1) 標準的な設置個所を示す。 2) 心電モニター、分娩監視装置用などを示す。 3) 記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(LAN)	1) 標準的な設置個所を示す。システム構成については市と十分協議すること。 2) 記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。 3) 電子カルテとは電子カルテ、部門システム、PACS、医事会計等のネットワークを総称し、一般インターネットとは医療職向け、事務職向けネットワークを総称する。
(コンセント)	1) 標準的な設置個所を示す。 2) 特殊電源とは単相 200V、三相 200V、単独回路を必要とする大容量コンセントを示す。 3) コンセントの数量、容量等については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(照明器具)	1) 標準的な回路構成を示す。 2) 照度、グレア、点滅区分等については、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。

【機械設備】

(共通事項)

原則、「病院設備設計ガイドライン(空調設備編)HEAS-02-2013」、「病院設備設計ガイドライン(衛生設備編)HEAS-03-2011」、「新しい感染症病室の施設設計ガイドライン」に準じて計画すること。

機械設備記号凡例	
(空調運転時間)	1) 空調運転時間を示す。 定時：7：00～8：00 頃から 18：00～21：00 頃など、主に昼間決められた時間連続運転する室。 24 時間：年間を通じて 24 時間連続的に運転、または随時運転する室。
(給水)	1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(給湯)	1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(排水)	1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(ガス)	1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(蒸気)	1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
(特殊排水)	1) 感染系統、中和処理系統、透析系統、厨房系統、高温高圧排水等特殊な排水の必要な室を示す。必要に応じて適切な排水処理設備を設けること。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。 感染系統 ・検査部門、除染室、洗濯室などからの感染性排水。 中和処理系統 ・洗浄室などからの洗浄排水。 透析系統 ・人工透析排水。 厨房系統 ・厨房エリアからの油脂分を含んだ排水。 高温高圧排水 ・中材部門からの高温高圧排水(オートクレーブなど)。

<p>(医療ガス)</p>	<p>1) 最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。なお病室については、原則ベッド毎に設置すること。</p> <p>酸素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。</li> </ul> <p>吸引</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。</li> </ul> <p>空気</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。</li> </ul> <p>笑気</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。</li> </ul> <p>窒素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。</li> </ul> <p>二酸化炭素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。</li> </ul> <p>余剰ガス排気</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋についてアウトレットを設置すること。</li> </ul>
<p>(衛生器具)</p>	<p>1) 最低限設置の必要な室を示す。諸室の特性を配慮の上設置すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。</p> <p>手洗器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者及び医療従事者用に設置。感染防止のため自動水栓を原則とし、溢水口なしとする。「自動」は自動水栓、「レバー」はレバーハンドル、「単」は単水栓、「混」は混合水栓（水とお湯の混合）を示す。</li> </ul> <p>スタッフ用手洗器（ゲースネック水栓）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療従事者用に設置。感染防止のため自動水栓とし、溢水口なしとする。自動水栓は、残留塩素濃度確保のため単水栓（水のみ）を原則とし、手首まで洗えるゲースネック水栓とする。</li> </ul> <p>手術用手洗器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋について設置すること（医療従事者用）。センサーの前に手をかざすだけで水の出し止めができるものとする。</li> </ul> <p>掃除流し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋について設置すること。</li> </ul> <p>汚物流し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋について設置すること（医療従事者用）。汚物を扱った医療従事者が水栓に接触することなく洗浄できるよう、センサースイッチとすること。</li> </ul> <p>乳児バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋について設置すること。</li> </ul> <p>オストメイトトイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋について設置すること。</li> </ul>

	<p>シャワー水栓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋について設置すること。やけど防止のため、サーモスタット付とすること。</li> </ul> <p>手指乾燥機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印のある部屋について設置すること。</li> </ul>
--	---



















必要諸室			全般				建築等				電気設備										機械設備										備考 (本工事)	配置予定の主要な医療機器等 (別途工事)						
部門名	諸室名	室数	面積		備考	施設要求水準	用戸種	カウ ンター	流 し 台	洗 濯 化 粧 台	洗 濯 化 粧 台 電 力 ワ ン	T V	音 源 出 出	ア イ ス コ ー ル	医 療 機 用 配 管	LAN	コ ン セ ン ト	照 明 機 具	空 調 運 転 時 間	給 水	給 湯	排 水	ガ ス	蒸 気	特 殊 排 水	医療ガス							衛生器具					
			酸素	吸引																						空気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	洗面器			手洗器	ス タ フ 用 手 洗 器	ス タ フ 用 手 洗 器	手 洗 器	手 洗 器	オ ス ト メ イ ト
<b>8.放射線検査部門</b>																																						
1.放射線診断	一般撮影室(立位・臥位)	3	33	99	5.5m×6m程度	更衣ゾーンを撮影室内に設置する 各室に臥位・立位の設置を想定する 内1室は5.5m×5m、内2室は5.5m×4mとする 一室は救急部門からのアクセスに配慮した位置に配置する																											24時間	装置付随設備対応、標示灯 架台・アンカー	一般撮影装置			
	(将来用一般撮影室)	1			将来想定																												24時間	装置付随設備対応、標示灯				
	乳房撮影室	1	30	30	5m×6m程度	更衣は撮影室内に設置する 個別の待合(4人程度)を設ける 一般撮影室に近隣する				自動・混	自動・混																						定時	装置付随設備対応、標示灯	乳房X線撮影装置			
	骨密度測定室	1	18	17.5	3.5m×5m程度	一般撮影室に近隣する																												24時間	装置付随設備対応、標示灯	骨密度測定装置		
	透視室	2	36	72		1室は6.5m×6.5m、1室は5m×6mとする 待合に洗面化粧台を設置する				自動・混																								24時間	装置付随設備対応、標示灯	X線TV撮影装置		
	透視更衣室	3	3	9		大きい透視室に接続する																												24時間	装置付随設備対応、標示灯			
	患者WC(X-TV室外)	3	3	9	1.5m×2m程度																														24時間	装置付随設備対応、標示灯		
	透視室前室	1	5	5							自動・混																									24時間	装置付随設備対応、標示灯	
	血管撮影室	2	48	96	8.0m×6.0m程度	空気清浄度class10,000				自動・混																									24時間	装置付随設備対応、標示灯 架台・アンカー	血管造影X線撮影装置	
	同上前室	2	適宜			血管撮影室2室の共有とするが、間で2室に区切れるようにする 空気清浄度class10,000				自動・混																										24時間	装置付随設備対応、標示灯 架台・アンカー	血管造影X線撮影装置
	同上機械室	2	10	20	2.5m×4.0m程度																															24時間	装置付随設備対応	
	同上 スタッフ更衣室	2	4.5	9	1.5m×3.0m程度																																	
	同上 患者用更衣室	1	4.5	4.5	1.5m×3.0m程度																																	
	同上 前処置室	2	9	18	3.0m×3.0m程度																																	
	同上 スタッフシャワー室(SU)	1	4.5	4.5	1.5m×3.0m程度																																	
	倉庫・待合(将来血管撮影室)	1	121	121	11m×11m程度	血管撮影室の予備スペース8m×6mとし、その他予備スペースを含め11m×11m程度とする				自動・混																												
	カテーテル保管庫	1	8	8	2.0m×4.0m程度																																	
	CT室	2	42	84	7m×6m程度	1室は前室を経由せず直接入室できるように配置する				レバー・混																												
	CT室更衣室	4	5	20																																		
	CT室前室・前処置・回復室	2	20	40						自動・混																												
	CT機械室	1	12	12	3m×4m程度																																	
	MRI室	2	48	96	6.0m×8.0m程度	3T MRI設置を想定する																																
	MRI室前室・前処置・回復室	2	15	30		MRI室2室共通				自動・混																												
	MRI室更衣室	4	5	20		内1室は車椅子対応とする																																
	MRI機械室	2	10	20	2.5m×4m程度																																	
	ESWL(結石破砕室)	1	30	30	5.0m×6.0m程度	更衣ゾーンを設ける 患者用WCを設ける 機械発生音に配慮し建物の端部への設置を検討する 放射線部門内に設置するが、外来の泌尿器科との動線短縮に配慮する				自動・混																												
	<b>(画像診断諸室)</b>																																					
	待合	1	適宜							自動・混																												
画像処理室(操作ホール)	1	適宜			手洗器は各撮影室毎に設ける 画像整理管理用のPC10台程度を配置できるスペースを確保				自動・混																													
受付	適宜	適宜			適宜数設けるが、CT-MRI専用は1ヶ所設ける				自動・混																													
放射線科読影室	1	30	30		5人分のPC作業エリアを設置する				自動・混																													
技師室	1	50	50		技師室、倉庫、当直室、業務管理室は集約配置する 30人程度使用				レバー・混	自動・混																												
倉庫	1	10	10		技師室、倉庫、当直室、業務管理室は集約配置する																																	
当直室	1	6	6		ユニットシャワーを設置する 技師室、倉庫、当直室、業務管理室は集約配置する				レバー・混																													
放射線科医室	2	6	12		放射線科読影室と近隣させる CT-MRI操作室との動線に配慮する				レバー・混																													
業務管理室	1	30	30		技師室、倉庫、当直室、業務管理室は集約配置する				レバー・混																													
放射線科検査 診察室	1	10	10		被爆認定施設の認定要件を満たせるものとする				レバー・混																													
スタッフWC	2	適宜	適宜		男女各1室ずつ設ける 放射線検査区画内の配置とする																																	
<b>(必要諸室)</b>																																						
<b>放射線検査部門</b>																																						
救急部門との動線短縮に配慮する 手術部門との動線短縮に配慮する 時間外、夜間にアクセスできないようセキュリティに配慮する 患者用EVからCT、MRI、血管撮影室の動線短縮に配慮する 各検査室には覗き窓を設置する																																						















